

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(平成28年度分)

平成29年9月
豊山町教育委員会

目 次

第一部 点検・評価制度の概要	1
I 経緯	
II 点検・評価の対象	
III 点検・評価の方法	
第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価	2
I 教育委員会会議の開催と審議状況	
II 教育委員の活動状況	
第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価	3
I 生涯学習の分野	3
II 家庭教育の分野	7
III 学校教育の分野	9
IV 文化財の分野	18
V 芸術・文化の分野	20
第四部 学識経験者による評価	21

第一部 点検・評価制度の概要

I 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、上記の法に基づく点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書をまとめることとする。

II 点検・評価の対象

平成28年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検・評価の方法

本町教育委員会は、平成28年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を「必要性」、「有効性」、「効率性」、「達成度」の4観点から下記評価基準によって自己点検・自己評価を行い、評価報告書にまとめ、平成29年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）」の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

(図表1 評価基準)

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

(参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抄))

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）、教育委員会臨時会を1回（昨年度0回）開催した。会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、19件（昨年度20件）の議案を審議・可決したほか、48件（昨年度54件）の報告を受けた。

○ 詳細については、町のホームページで公開しております。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、委員と事務局との意見交換を積極的に行った。

II 教育委員の活動状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

① 教育委員は、教育委員会会議のほか、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。

- ア 総合教育会議 0回（昨年度1回）
- イ 学校訪問（1日訪問） 2校（昨年度2校）
- ウ 町教育委員会学校訪問 2校（昨年度2校）
- エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換） 3回（昨年度3回）
- オ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等 4校（昨年度4校）
- カ 視察研修 0回（昨年度0回）
- キ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）
- ク 愛日地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）
- ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）
- コ 西春日井地区教育委員会連絡協議会臨時総会 1回（昨年度0回）
- サ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 1回（昨年度1回）
- シ 西春日井地区教育委員会連絡協議会視察研修 1回（昨年度1回）
- ス 豊山町教育委員会研修会 0回（昨年度1回）

【評価と課題・改善策】

教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換会議、現地視察等に参加して、幅広い視野から教育の在り方を検討した。

第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

I 生涯学習の分野

○ 冊子『豊山町の生涯学習・平成28年度のまとめ』（以下『まとめ』と省略する）を参照

<『まとめ』P8～10参照>

推進計画の期間 平成22年度から平成31年度までの10年間

テーマ「だれもが学び、学びをつなぐ、人が輝く生きがいタウン」

基本目標1「だれでもどこでも学ぶ意欲を育む生涯学習」と施策

- ① 学習機会を提供し、生涯学習を身近なものにします
- ② 家庭と地域が一体で豊かな心を育てます
- ③ 生涯学習施設などの有効な活用を進めます
- ④ 利用しやすい学習情報を提供します

基本目標2「ともに学び、伝え、交流を広げる生涯学習」と施策

- ① 生涯学習の担い手を広げます
- ② サークル活動を活性化します
- ③ 学習成果を活かす機会を広げ、学びを通して、交流活動を進めます

基本目標3「人が輝くまちづくりにつなげる生涯学習」と施策

- ① 地域活動やボランティア活動を支援します
- ② 一人一人の活動がまちづくりにつながる意欲を育てます

5年後の豊山町のめざす姿	子どもからお年寄りまで、誰もが一人一人のライフスタイルに応じて、生涯にわたっていつでも新しい知識を修得したり、学習やスポーツなどの活動を通じて余暇時間をいきいきと過ごすことができる環境を整えます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業1-1	生涯学習のまちづくりの計画的な推進	評価	A
目標	社会経済の状況、地域での学習環境の変化、学習活動内容の多様化などに対応した生涯学習のまちづくりを一層推進するため、生涯学習基本構想・基本計画に基づき、計画的に生涯学習のまちづくりを推進する。		
実施状況と成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育分野・福祉分野・ボランティア分野の各代表12名を委員として、生涯学習推進審査会を毎年3回ずつ開催している。年3回の審査会では、まちづくりに向けた基本構想・基本計画の実施状況、生涯学習事業の進捗状況、基本構想実践に向けた進行管理を審議・精査している。 ○ 現在、平成22年度からの豊山町第4次総合計画の基本構想（10年間）の、平成27年度からの後期基本計画（5年間）中であり、生涯学習による豊かな心を育むまちづくりをめざし、今年度も順調に推進している。 		

事業1-2	学ぶ機会の充実	評価	A
目標	町民の主体的な参画や大学や企業との連携を一層強化し、体験型講座や地域に密着した学習メニューなど、町民のニーズに対応した学ぶ機会の拡充に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習講座内容の充実 <『まとめ』P11～16 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級、豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、パソコン講座、和食講座、親子パン講座、郷土の歴史を巡る講座などの開講 <p>② 文化振興事業・サロンコンサートの開催 <『まとめ』P18 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八神純子アコースティックコンサート【前年比5人増】 ・気軽に楽しめる昼のミニコンサート「クラシック」の演奏 <p>③ 住民参画による生涯学習の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいひろば・放課後子ども教室・子ども会・スポーツ少年団などの活動に、文化協会や体育協会所属クラブやサークルなどの参画 		
評価と課題・改善策	<p>○ 講座が一部マンネリ化しているという指摘があったものの、子育て支援も含めた幅広い分野での講座では、充実した活動が実施された。</p> <p>○ 文化振興事業は、公募によるサポーターとの協働により、企画から運営まで自分たちで参加する事業として定着してきた。町民が気軽に文化・芸術にふれることができる貴重な機会となっている。</p>		

事業1-3	学習活動支援の人的体制の整備	評価	B
目標	講師や指導者、ボランティアなど生涯学習に関わる人材を確保・育成するとともに学習した知識や技術を活用する場の確保に向けた取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習ボランティアバンクの整備<『生きがいタウン』参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティアの募集と登録（7分野） 趣味（将棋・ビデオ編集・編み物・陶芸・茶道・理科工作など）、家庭生活（美容・子育て）、教養（韓国語）、体育レクリエーション健康（バウンドテニス・チェックボール・ミニソフトバレー・ウォーキング・ダンスなど）、伝承文化（太鼓・三味線）、地域活動（生涯学習）、国際交流（交流活動） <p>② サークル登録制度とサークル活動の活性化 <『まとめ』P10 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会や体育協会に所属していないサークルやグループの登録 ・仲間作りと人材育成のサポートやその手伝い 太極拳（3団体）・スポーツ吹矢 		
評価と課題・改善策	<p>○ サークル登録募集の趣旨が十分に浸透していないため、登録団体は増えていない。また、受講生が講師になって講座を開設する構想も実現していない。サークル情報を提供する啓発活動と情報収集が必要であった。</p> <p>○ 退職した教員や社会経験の豊富なシニア世代にも社会参画を促し、ボランティアバンク登録を呼びかけ、地域の人材を確保していきたい。</p>		

事業 1-4	学習情報の提供と学習相談体制の整備	評価	A
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、必要な学習情報を的確に入手できる情報提供体制の充実を図る。また、生涯学習に関する相談窓口体制の構築など、生涯学習に関する情報提供、相談体制の機能の充実を行う。		
実施状況と成果	<p>① 情報提供体制の充実 <『まとめ』P20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌『生きがいタウン』（4月号・9月号）年2回の発行 町ホームページに掲載し、学校・公共施設・コンビニなどで配布 ・毎月発行『広報とよやま』の「まなびすと」ページでの掲載 講座受講生の感想、キッズレポートでの子どもの声などでの啓発活動 ・生涯学習情報コーナーの設置（社会教育センター内） 国県市町村・大学などの発行するパンフレットなどの設置 <p>② 学習相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びネットあいちなど、インターネットサイトの活用による生涯学習相談 ・相談後の講師やサークルなどの紹介による情報の提供 		
評価と課題 ・改善策	○ 広報・パンフレットなどの紙媒体では限界があるので、ホームページなどの多様な通信媒体での情報提供を進めた。ホームページで『生きがいタウン』を検索しやすくしたい。「とよやまみんなのチャンネル」で情報コーナーを設け、講座などを紹介する企画をさらに進めていきたい。		

事業 1-5	学習環境の整備と活用	評価	A
目 標	社会教育センターやスポーツ施設のほか、学校体育施設や学習等供用施設の設備の充実、生涯学習以外の目的で設置された施設や設備の生涯学習活動での利用拡大を図る。特に、社会教育センターでは航空宇宙関連の図書コーナーを充実する。		
実施状況と成果	<p>① 施設予約システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる予約受付（平成 22 年度導入） 社会教育センター・豊山グラウンド・志水テニスコート・伊勢山スポーツ広場の利用者拡大と整備拡充 <p>② 社会教育施設の利便性向上 <『まとめ』P56・60 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センターの利用状況（アリーナ・ホール・研修室など） 年 4,818 件利用【前年比 142 件増】 1 日平均約 13 件 ・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の 3 施設） 年 4,959 件利用【前年比 70 件減】 1 日平均約 14 件 <p>③ とよやマスカイプールの利用 <『まとめ』P62 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月2日（土）～9月11日（日）の 70 日間開場 合計入場者数 47,896 人【前年比 1,049 人増】 1 日平均約 684 人 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ とよやマスカイプールの入場者数が大幅に増えたことは喜ばしい。</p> <p>○ 社会教育施設の利用者数は、ほぼ例年通りであった。社会教育センターでの航空宇宙関連の図書コーナーのさらなる充実が望まれる。</p>		

事業 1-6	読書活動の推進	評価	A
目 標	本に親しむ環境を整え、児童生徒に豊かな情操を育成する。社会教育センター図書室を中心に関係機関と連携を深めながら子ども読書活動推進計画の実践に努める。		
実施状況と成果	<p>① 社会教育センター図書室の利用状況 <『まとめ』P58 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数年 285 日、貸出冊数年合計 43,804 冊【前年比 273 冊増】 <p>② 豊山町子ども読書活動推進計画の実践 <『まとめ』P56・57 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町子ども読書活動推進委員会（年 4 回実施）の開催 利用者カード申請書の配布（新 1 年児童）、新刊図書のご案内配布、学校図書館バーコード化への取組、読書活動の情報交換 ・親子読書会（年 4 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 大型紙芝居・ペープサート劇・手遊び・おもちゃ作りなど 参加者合計 140 人（1 回平均 35 人）【前年比 33 人減】 ・おはなし会（年 1 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ 参加者合計 135 人（月平均 11 人）【前年比 17 人減】 		
評価と課題・改善策	○ 平成 28 年 3 月に子ども読書活動推進計画（第二次）が策定され、貸出冊数が増加し推進に寄与している。少子化にもかかわらず、親子読書会・おはなし会とも地道に熱心に活動し、読書活動推進に貢献している。		

事業 1-7	社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進	評価	S
目 標	スポーツ推進委員・体育振興団体の活動を支援し、社会体育・生涯学習スポーツ事業を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 社会体育・生涯スポーツの振興 <『まとめ』P46～51 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児体操教室（2・3 歳児とその親）23 組、児童体操教室（小学 1～3 年）30 人、ノルディックウォーク教室（一般）合計 20 人、ビーチボール教室（一般）32 人、ダンス教室（一般）12 人、体力・運動能力測定会（一般）40 人、ニュースポーツ教室（一般）80 人、カローリング教室（一般）19 人、ミニソフトバレーボール教室（小学生と保護者）116 人 <p>② 第 45 回町民体育大会の開催 <『まとめ』P44・45 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 2 日（日）開催 参加者 2,400 人【前年比同数】 <p>③ 第 11 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 月 3 日（土）開催 記録 16 町村中 9 位【前年比 1 位アップ】 町村の部モリコロ賞 2 位 <p>④ 第 9 回とよやまエアポートビューマラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 月 5 日（日）開催 出場者 795 人【前年比 41 人減】 		
評価と課題・改善策	<p>○ 社会体育・生涯学習スポーツの申込者数は増えつつあり喜ばしい。今後も、多世代参加型の講座・教室事業を継続すべきである。</p> <p>○ 愛知駅伝の選手確保が課題である。困難な区分については、スポーツ推進委員や体育協会の協力を得て候補者を発掘し、上位を維持したい。</p>		

II 家庭教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	親子の対話やしつけなど家庭での親の役割が適切に発揮され、家族のふれあいが深まっています。また、学校と家庭、地域が一体となって子育ての支援や家庭教育を進めていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業2-1	家庭の教育力向上への支援	評価	A
目標	乳幼児学級や家族ふれあい事業、絵本の読み聞かせなど乳幼児を対象とした事業を推進するとともに、体験活動など親子の学習機会の充実をめざす。また、子育てサークルの支援や親同士の情報交換、交流機会の拡充により子育てネットワークの構築を図る。		
実施状況と成果	<p>① 乳幼児学級事業の開催 <『まとめ』P17 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族ふれあいコンサート年3回の開催 参加者数 合計 64組・140人【前年比 34組・63人減】 <p>② 家族ふれあい事業の推進 <『まとめ』P35 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄崎幹人の自然探検隊 年2回 参加者数合計 22人【前年比 22人減】 ・家族芸術劇場 総合劇集団俳優館「ヘルン氏のこわいかこわくないかわからない話」開催 入場者数 午前・午後の部合計 94人【前年比 42人減】 ・家庭教育講演会「自分の歩幅で」参加者35人【前年比25人減】 		
評価と課題・改善策	<p>○ 家庭教育講演会は、一般的な啓発目的の講演会のみならず、今後は、ワークショップなど、受講者参加型の導入を図ることも検討していきたい。</p> <p>○ 今後も、町保健センターや福祉課など子育てに携わる他部局と、相互に情報の共有・連携を深め、事業の充実に努めていきたい。</p>		

事業2-2	地域の教育力向上への支援	評価	S
目標	子育てや家庭教育に関する相談体制の充実や講演会の開催をはじめ、子どもが安心して安全に放課後活動に取り組める環境づくり、家庭教育事業への父親の参加促進など、地域で家庭教育を支える体制を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 放課後子ども教室事業の充実 <『まとめ』P27 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 豊山小学校児童1年生～3年生 登録 42名（1年 16名・2年 22名・3年 4名）【前年比 12名減】 登録率 22%【前年比 7%減】 ・開催日 給食のある月・木曜日の下校～午後4時 延べ年 72回 ・活動内容 学習・工作・読書・外遊び・地域住民による交流体験活動（三味線・絵本読み聞かせ・昔の遊び・ペープサート劇・卓球など） <p>② ふれあいひろば事業の充実 <『まとめ』P25・26 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合い言葉「子どもは地域で育てよう」 小中学生だけでなく、保護者や地域の大人も参加できる多世代参加型の文化・スポーツ教室 ・陶芸・茶道・太鼓・三味線・将棋・バウンドテニスなどの 17 種目 		

<p>評価と課題 ・改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室は、三味線・昔の遊び・卓球などの体験を通じた地域住民との交流が多く、地域住民と子どもたちが直接ふれあう貴重な機会となり、充実した活動をすることができた。また、子どもたちが、地空人くんへ年賀状を出したところ、お礼に地空人くんが放課後子ども教室を訪問し一緒に遊んだ記事が新聞や雑誌に掲載され、話題となった。 ○ ふれあいひろばは、土曜日の子どもの居場所づくりに大きく貢献している。保護者・祖父母も参加できる、多世代参加型の事業として充実した活動がなされている。放課後子ども教室とともに、事業は定着している。 ○ 「地域の子どもは地域で育てる」ためにも、地域住民が地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる、地域の教育力の向上が今後も求められている。
-----------------------	---

事業2-3	子どもの豊かな心を育む学習支援	評価	A
<p>目 標</p>	<p>青少年健全育成団体のネットワークを強化する中で、青少年リーダーの発掘・養成を図るとともに、スポーツ少年団や子ども会の活性化、青少年健全育成のための諸活動の充実連携に努める。</p>		
<p>実施状況と 成果</p>	<p>① 青少年育成団体による巡回指導事業 <『まとめ』P27・28 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動 ・ 夏季（計5回）延べ32人、冬季（計4回）延べ16人参加 ・ 巡回場所 各小中学校区、公共施設、エアポートウォーク、神明公園、コンビニ、夜間開催の三菱重工の夏祭り・とよやまDEないと会場 <p>② スポーツ少年団への支援 <『まとめ』P30～33 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団の登録率24.3%【前年比0.4%減】 野球59人、サッカー70人、空手63人、卓球28人、バレーボール16人、剣道10人 合計246人【前年比同数】 ・ 関市上之保地区スポーツ少年団（岐阜県奥山キャンプ場）との野外交流 2泊3日（キャンプファイヤー・魚のつかみ取り・炊飯など） 参加者100人【前年台風接近により中止】 <p>③ 子ども会活動への支援 <『まとめ』P34 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドッジボール大会、カラーリング交流会、どろんこ教室、子どものつどい、長野県阿智村清内路交流、子ども会新聞発行への支援 		
<p>評価と課題 ・改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ活動・清掃奉仕活動・他地域スポーツ少年団との交流活動などを通じて、小学生を中心に、体力づくり・スポーツ技能向上・児童生徒の健全育成に大きく寄与できた。今後も、強化・活性化を図っていきたい。 ○ 学校・PTA・少年補導委員・町教育委員会が互いに連携しながら事業を進めた。小中学校生徒指導推進協議会を中心に、小中学校の生徒指導や情報交換などの連携の強化に努めた結果、非行防止に役立った。 ○ スポーツ少年団員や子ども会員が年々減少しているのが課題であるが、子ども会では、中学生のジュニアリーダー発掘に努めている。 		

Ⅲ 学校教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	子どもたちが基本的な学力を身に付け、道徳教育や体験活動を通じて命と人権を大切にして、夢に向かってともに生きる心を育てています。また、教員は教育の専門家として自覚を高め、高い実践力と指導力を備えています。	総合評価	A
--------------	---	------	---

事業3-1	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
目標	学校評議員や学校関係者評価委員による学校評価活動に保護者をはじめ地域住民の参画を促し、地域全体で学校経営を評価・改善していく取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会を年2回以上開催 <p>② 地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】「地域の子どもは地域で育てる」開かれた学校の推進 マラソン大会などの学校行事に多くの保護者・地域の方々の参観 ・【志水小】ボランティア募集案内の配付により、家庭・地域から広く人材を確保 地域のゲストティーチャーによる出前講座を積極的に活用 ・【3小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 自己評価・学校関係者の評価結果と公表により、説明責任を果たすことができた。保護者や地域住民の理解と参画を得て、学校・家庭・地域との連携による、地域に開かれた学校経営を推進することができた。</p> <p>○ 今後は、「豊山町まちづくりサポーター」との連携が図れるとよい。</p>		

事業3-2	学習指導・教育環境の整備拡充	評価	B
目標	全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める。また、将来的な建替えも含めた改修計画を策定し、防犯性・教育環境の向上、情報教育への対応のための施設・設備の整備・改善を進める。		
実施状況と成果	<p>① 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【4小中学校】体育館（講堂）天井の耐震対策は完了済み ・【豊山小】東昇降口改修工事・変圧器等取替工事 ・【新栄小】教室間仕切り及び一輪車置場設置工事・配膳室改修工事 ・【志水小】LAN設置工事・受水槽修繕工事 ・【豊山中】体育館（天井）改修工事・下水道接続・中継ポンプ撤去工事 ランチルーム空調機取替工事・玄関等修繕工事 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 各校とも校舎の老朽化が進行しているため、安全な学習の場・快適な学習環境の場の提供が求められている。今後、将来的な建て替えも含めた、整備・改善に係る大規模な改修計画を策定する必要がある。</p>		

事業3-3	特色ある学校教育の推進	評価	S
目 標	基礎学力の向上や豊かな心を育てる特色ある学習活動や教育活動を実践する。外部講師の招へいや学校行事への地域住民の積極的な参加を促すなど、地域や企業・事業所等との連携による開かれた教育活動を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 特色ある教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】茶道教室（6年生）、福祉施設「しいの木」「しらゆりの里」訪問（5年生）、和太鼓教室（4年生）、どじょう寿司を味わう会（3年生）動物ふれあい教室（1年生） ・【新栄小】一輪車検定・運動会ダンス・親子観劇会（全児童）もちつき会（5年生）、大山川水生生物調査（5年生）和太鼓の体験（3年生）、サツマイモ堀り・タマネギ収穫（2年生） ・【志水小】アルミ缶回収活動・エコキャップ活動・音楽鑑賞会（全児童）北部市場による魚食文化を学ぶ命の講座（5年生）、下水道講座（4年生） ・【新栄小・志水小】空港イベント事業「空の日」に合唱隊参加（高学年） ・【豊山中】長野県へブンス園原でのスキー体験（1年生） 		
評価と課題・改善策	○ 各校では、外部講師や地域住民の意欲的な参加による多種多様な特色ある教育活動が定着してきた。特に、中学生のスキー研修は、他校にはない魅力ある校外体験宿泊事業であり、好評を得ている。		

事業3-4	健やかな児童生徒の育成	評価	A
目 標	児童生徒が健康で安心して義務教育を受けられるよう、食生活の指導や健康診断の実施、心理カウンセラーによる相談事業など児童生徒の心身にわたる健康の維持・増進を図ります。登下校時の安全対策や不審者対策など安全体制の確立、特別な支援教育を要する児童生徒への支援・指導を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>② 各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」の実施（4年目）、毎月1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組「生活チェックカード」「元気アップカード」の活用など ・【豊山中】「薬物乱用防止教室」「生と性の教室」の開催 <p>③ 安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】自転車での交通安全教室の実施（3年生） ・【新栄小】自転車安全利用モデル校委嘱 ・【豊山中】「地域の方（保護司）のお話を聞く会」の開催、町役場による防災学習「大地震発生！もし学校が避難所になったら」の講習 <p>④ 町支援員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山小2名（介助・特支）志水小1名（特支）豊山中2名（介助・通訳） 		
評価と課題・改善策	<p>○ 地道な交通安全指導により、児童生徒の大きな交通事故はなかった。</p> <p>○ 中学校での通訳を兼ねた語学支援員の加配は、効果的であった。</p>		

事業3-5	安全で安心できる学校給食の提供	評価	A
目 標	給食センターの施設設備や新たな調理システムの導入に向けた調査研究を行うなど、学校給食体制を充実し、食の安全確保や食育の取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 給食センター運営・献立委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食センターの業務や献立についての調査研究と審議 <p>② 食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 【新栄小】「マヨネーズ教室」出前講座（QP）2年生 【志水小】「手づくりおやつ」出前講座（東邦ガス）5年生、「豆ふづくり」出前講座（JA尾張中央）5年生、「からだのこををして、きちんとたべよう」出前講座（食育グーグー）1・2年生など <p>③ 食の安全講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 【4小中学校】食物アレルギー児童の保護者との面談（4月当初・1年生） 【豊山小】【新栄小】【志水小】エピペン研修会（対処法）へ参加 食（食中毒防止）の安全講習会 年1回開催 対象者 調理員・配膳員・栄養教諭・用務員・学校給食主任など 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「親子ふれあい給食」での栄養教諭による栄養指導は好評であった。 ○ エピペン対処の児童が年々増加している。食物アレルギーへの対応には給食センターと協力し合い、事故のないよう万全を期していきたい。給食では異物混入のないよう常に細心の注意を払って日々取り組んでいる。 		

事業3-6	教員の資質向上	評価	A
目 標	町内小中学校における授業研究を中心とする校内現職教育を進め、教員の資質向上（教師力向上）をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【豊山小】「確かな学力を育む指導法の工夫」 ー算数の授業を中心にした実践を通してー 【新栄小】「言葉の力を身に付け、よりよく生きようとする児童の育成」 ー語彙を広げ、説明的文章を読み進める力を育む指導の工夫ー 【志水小】「深く考え、判断し、自分の言葉で表現できる児童の育成」 ー伝え合い、学び合う活動を通してー 【豊山中】「豊かな心をもち、生き生きと活動する生徒の育成」 ー心に響く道徳の授業を通してー <p>② 第10回豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜聖徳学園大学から名倉裕一先生を招へいし、町内全教員で研修 新栄小3年生での示範授業「これからの道徳授業のあり方」 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業力向上は教員の最優先事項である。各校では研究テーマのもと授業研究を中心に、町教育委員会では道徳の研修を中心に研修を深めた。 ○ 町内全教員が参加する夏季研究協議会は、町独自の熱心な取組である。喫緊の課題である道徳教育の研修は、教員にとって効果的であった。 		

事業3-7	魅力ある教員の養成	評価	A
目標	経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、若手教員を確実に育成する。		
実施状況と成果	<p>① 経験や職務内容に即した研修機会の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生徒指導など、実践的指導力の向上（初任者研修・少経験者研修） ・専門職としての資質能力の向上 養護教諭・特別支援学級担任・事務主任・保健主事・生徒指導主任など <p>② 町講師研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町採用非常勤講師（14名）を対象に、年4回の研修会の実施 教員としての心構え、研究テーマ設定後の『実践報告書』の作成 授業研究会の後、『実践報告書』をもとに研究協議会の開催 <p>③ 不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・暴言、セクハラ・わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反の防止 ・不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町講師対象の研究会は、実践的内容で若手教員の育成に効果的である。 ○ 教員の大量退職・大量採用が続き、若手教員が年々増加している。「教育は人なり」である。若手教員に教師力・人間力を確実に育成したい。 		

事業3-8	校務支援の推進	評価	B
目標	会議等の削減、組織の効率化を図り、校務処理のIT化・共同実施化を推進し、教職員の負担を軽減する。		
実施状況と成果	<p>① 会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー上での「C4th会議室」活用の推進 ペーパーレスの導入、企画委員会や朝の打ち合わせの廃止・精選 ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の取組 ・【豊山小】会議資料の電子化の推進、「連絡掲示板」の活用 「部活なしデー」の設定 ・【新栄小】電子黒板や教材提示装置などの機器を活用した授業の展開 「リフレッシュデー」の設定 ・【志水小】ペーパーレスへの取組、「リフレッシュデー」の設定 ・【豊山中】打合せ・会議の精選、「定時退校日」の設定 <p>② 学校事務の共同実施化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C4thの活用による事務処理の効率化・適正化 子どもと向き合う時間の確保に向けて、サーバー上でやりとりの実践 ・豊山町共同実施組織としての事務処理 事務職員のOJTの推進 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「リフレッシュデー」「定時退校日」「部活なしデー」などの設定により、様々な取組が図られているが、教職員の多忙化解消は今後も継続すべき喫緊の課題である。教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを早急に推進していくべきである。 		

事業3-9	教員に対する支援チームの結成	評価	A
目標	保護者・地域からの要望には学校全体で対処し、その解決に全力を尽くす。状況に応じて関係機関との連携を図る。		
実施状況と成果	<p>① 教員を支えるサポート組織</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域からの苦情には教員一人で悩まず、学校全体で対処し、スクールカウンセラーやPTAを含む全校でのサポート態勢の確立 <p>② 外部ボランティアやゲストティーチャーによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民による絵本の読み聞かせ・ペープサート劇鑑賞・もちつき会、「おやじの会」のボランティア活動、老人クラブによる登下校見守り隊など <p>③ 企業・事務所との連携による支援（キャリア教育と兼ねる）</p>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多種にわたる外部のボランティアや講師の協力的な支援は、頼もしい。 ○ 地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民が参画し、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を今後も進めていきたい。身近な地域の学校を核に、地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後もさらに進めていくことが求められる。 		

事業3-10	キャリア教育の確立	評価	A
目標	キャリア教育の充実に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた勤労観や職業観を育成する。		
実施状況と成果	<p>① キャリア教育に関わる出前講座の活用【3小学校の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年生 地元農家による「農家の仕事を聞く会」「タマネギ収穫体験」 ・5年生 名古屋市中央卸売北部市場による「魚食文化を学ぶ・命の講座」 県職業能力開発協会による「ものづくり（左官・大工）出前講座」 地元音楽関係者による「いろはに邦楽」 航空会社の現役パイロット・客室乗務員による「FDA航空教室」 航空会社による「MRJ出前教室」 ・6年生 地元業者・ものづくりマイスターによる「和菓子づくり講座」 愛知県建設部による「まちづくり出前講座」 三菱航空ミュージアムの見学 <p>② 職場体験学習・進路学習の実施【豊山中の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 町役場・「しいの木」・保健センター・保育園・幼稚園・ナフコ・アピタ・ヨシヅヤ・トイザラス・マクドナルド・サークルKをはじめ、39か所の公共施設・福祉施設・商業施設で職場体験 ・2年生 高等学校20校への「上級学校（高校）訪問」 現役プロレスラーによる講話「プロとしての生き方」 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では出前講座により、中学校では職場体験学習により、職業観を育成するキャリア教育が推進された。特に、空港や航空機産業についての学習は、地元豊山町の将来を見据えた大切なキャリア教育教材である。 ○ 今後も、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成を進めていきたい。 		

事業3-11	英語教育と小学校外国語活動の推進	評価	A
目標	小学校からの英語教育を充実させ、効果的な実施を進める。異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際性を育むために、国際理解教育の充実を図る。		
実施状況と成果	<p>① ALT（外国語指導助手）の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTと担任とのTT（ティーム・ティーチング）による英語教育の推進 小学1年生からの英語によるコミュニケーション能力の育成 1・2年生「生活科」年3時間、3・4年生「総合」年9時間の実施 <p>② 校内現職教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTと担任とのTTによる小学校外国語活動授業研究の実践 ALTを講師として、語学力の向上に努めた英語教育研修会の開催 <p>③ 国際理解教室の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 【志水小】外国の異なる文化や生活習慣を知ろうとする態度の育成 <p>④ 英会話への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 【志水小】奈良京都の修学旅行先で外国人にインタビュー（6年生） 【豊山中】英語オーラルインタープリテーションコンテスト2位（英語部） 高等学校主催のスピーチコンテストに応募（英語部） 		
評価と課題 ・改善策	○ 小学校では、平成30年度からの移行期間を経て「外国語（英語）」が教科となる。平成32年度完全実施に向けて、「英語」授業時間数の確保と、教員の指導力を高める「英語」研修が喫緊の課題である。		

事業3-12	情報教育の推進	評価	A
目標	ICT機器を活用し、児童生徒に情報活用能力や情報モラルを育成する。		
実施状況と成果	<p>① ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 【3小学校】ICT機器の効果的な活用を現職教育のテーマに導入 デジタル教科書や書画カメラの活用、効果的で分かりやすい教材提示の工夫、ICT機器を取り入れた授業の質の向上 【豊山中】社会科・体育・美術の授業での効果的な活用（写真・動画など） <p>② 情報モラル育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 【4小中学校】保護者参加の「携帯スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向け資料『ネットトラブルから子どもを守るために』の活用 【新栄小】「eネットキャラバン出前講座」（6年生と保護者） 【志水小】「情報モラル教室」（3・4・5・6年生と保護者） 【豊山中】技術・家庭科の授業を核とした、PCタブレットの活用 コンピュータやSNSで入手した情報の適切な活用能力の育成 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ パソコン教室の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能を定着させることができ、情報活用能力の育成に寄与することができた。今後は、PCタブレットが一人1台使用できることが理想的である。</p> <p>○ 情報モラルの育成は、生徒指導上からも必要不可欠な課題である。</p>		

事業3-13	就学援助の充実	評価	A
目標	児童生徒の教育機会を保障するため、保護者に対して経済的な援助を行う。		
実施状況と成果	<p>① 就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助法に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・経済的な負担軽減のための特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者 <p>② 教育振興事業による援助（全児童生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の副読本、夏休み冬休みの日誌、知能検査、学力検査（CRT） <p>③ 準要保護者への就学援助費・奨励費の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・修学旅行費・学校給食費の支給 		
評価と課題 ・改善策	○ 就学援助を必要とする保護者に、就学支援制度の周知を図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学支援を充実させることができた。		

事業3-14	道徳教育の推進	評価	A
目標	これまでの道徳教育や体験活動の在り方を見直し、地域共同体の中において地域の人材による学校支援ボランティアを活用し、豊かな心を育成する観点を一層重視する。		
実施状況と成果	<p>① 挨拶・ふれあいでの交流【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>② 読み聞かせの実施【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域ボランティアによる本の読み聞かせを定期的実施 本への興味・関心を高め、読書習慣の育成と定着化 <p>④ 地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】もちつき会交流、親子除草作業などでの交流、和太鼓教室、読書会ボランティアによるペープサート鑑賞とふれあい給食 ・【豊山小】「木遣りを聴く会」「神楽を学ぼう」「どじょう寿司を味わう会」 ・【新栄小】運動会ダンスでの交流、バラの剪定指導、昔のくらしのお話 ・【志水小】昔の遊び指導、フラダンス指導と給食での交流 ・【豊山中】町主催の健康フェスティバルや防災訓練での交流 		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 多くの地域の学校支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。道徳教育の推進には、地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていくことが大切である。</p> <p>○ 「道徳」は小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から「特別の教科」になる。評価を含めた現職教育の推進が喫緊の課題である。</p>		

事業3-15	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	S
目標	体力向上に向けた取組を学校体制で実施する。部活動や対外活動を支援するための外部指導員を拡充する。		
実施状況と成果	<p>① 体力づくりの工夫【新栄小の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一輪車・なわとび集会・マラソン運動への積極的な取組 <p>② 小学校での水泳教室【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の「水泳教室」(15m泳げない児童を対象)による成果 <p>③ 部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【小学校】小学校東ブロック地区サッカー競技会(志水小・準優勝) ・【中学校】<豊山中学校の地区大会・愛日大会・県大会の主な結果> <ul style="list-style-type: none"> 野球部(中日少年野球東尾張地区大会優勝・県大会出場) 女子バスケット部(地区3位) 女子バレー部(地区3位) 女子卓球部(地区団体優勝・愛日3位・県大会出場) 男子卓球部(地区団体優勝) ソフトボール部(地区3位) <p>④ 部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】外部指導員による部活動支援(野球部・ソフト部・女子卓球部) 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上に熱心な取組の結果、小中学校とも部活動ではよく健闘した。 ○ 今後は、外部指導員に対する部活指導の研修も必要となると思われる。 		

事業3-16	いじめ・不登校への対応	評価	A
目標	いじめを許さない学級・学校づくりを進める。スクールカウンセラーや専門家による学校支援の充実を図る。適応指導教室においては学校への復帰をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 学校いじめ防止基本方針の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」ことの共通認識 ・校内いじめ防止(不登校)対策委員会を毎月1回開催 <p>② 町いじめ問題等(不登校)対策委員会の開催(年6回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任・スクールカウンセラー・適応指導教室担当・県家庭教育コーディネーター・担当校校長・教頭の参加による情報交換と指導 ・「いじめに関するアンケート調査」(年3回・無記名式)の実施 ・町作成の保護者向け啓発資料リーフレット(携帯・スマホ含む)『ネットトラブルから子どもを守るために』の配布と効果的な活用 <p>③ 町適応指導教室「しいのき」の取組(中学生の入室3名・体験1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への復帰をめざした入室生徒の学習支援や社会適応への取組 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを許さない全校態勢での取組の結果、継続した悪質ないじめはないが、年30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、増加傾向にある。 ○ 町適応指導教室においては、生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画された。生徒が安心できる心の居場所としての存在価値は高い。 		

事業3-17	生徒指導の充実	評価	A
目 標	非行問題行動等に対しては生徒指導研修を充実するとともに、警察等町内外の学校関係機関と連携し、問題の早期発見と早期解決に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生徒指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い）の徹底と定着化への取組 <p>② 教育相談の充実（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期に1回、教育相談を行い、児童生徒の実態把握に努め、不登校や問題行動の未然防止と、問題の早期発見と早期解決への取組 ・ 児童生徒の心の居場所となるような学級・学校づくりに努め、児童生徒・保護者との信頼関係の構築 ・ ケース検討会（カウンセラーも含める）による情報の共有化 ・ スクールカウンセラーとの連携の強化、家庭の心の問題にも対応 <p>③ 学校関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町教育委員会・町福祉課・町保健センター・町適応指導教室「しいの木」・中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、未然・再発防止、早期発見と解決への取組 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察に直接関わった検挙・補導・非行の問題行動は、なかった。 ○ 青少年育成会議による巡回指導がほぼ定着し、非行防止の効果がうかがえた。巡回パトロールの実施や自主防災パトロール隊との連携を深めながら、非行問題行動のない安心・安全なまちづくりに努めていきたい。 ○ 非行問題行動については、教育相談を中心に、今後も、全教職員が児童生徒の小さなサインを見逃さないように努めていくことが大切である。 		

IV 文化財の分野

5年後の豊山町のめざす姿	文化財保護の意識が浸透し、町民と行政が協働で保護に向けて取り組んでおり、郷土の文化財が身近なものとして町民に親しまれるよう、広く活用していきます。	総合評価	A
--------------	---	------	---

事業4-1	文化財の調査・保護	評価	A
目 標	文化財の調査・研究に努めるとともに、民具などの郷土資料の収集を行うほか、既存の県・町指定文化財の保護に努める。		
実施状況と成果	<p>① 文化財保護審議会の開催 <『まとめ』P63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町の文化財保護事業に関する点検と評価を年1回開催 <p>② 指定文化財の保護・保存 <『まとめ』P63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵） <p>③ 郷土資料の収集と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに企画・特別展の開催、時節パネルによる掲示 ・郷土資料室の所蔵している民具などの紹介と啓発 ・毎月発行している図書室だより『書窓』に「郷土資料室のページ」の掲載 		
評価と課題・改善策	○ 町内に現存する有形・記念物の町指定文化財に解説付きの案内板を設置するなど、文化財研究会の継続的で熱心な活動による功績が大きい。		

事業4-2	文化財保護意識の醸成と担い手の育成	評価	A
目 標	文化財マップの作成や文化財研究会との連携を通じて、町民の文化財保護意識の醸成を図り、文化財保護を担う人材を育成する。		
実施状況と成果	<p>① 文化財マップ作成と啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究会が作成した『とよやま文化財まっぷ』の配布と活用 ・身近にある郷土の文化財に気付かせ、その保護に努める意識の醸成 <p>② 歴史講座の開催 <『まとめ』P63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「郷土の歴史を巡る・名古屋城」（年5回）参加者19人【前年比2人増】 <p>③ 文化財研究会の活動と支援事業 <『まとめ』P64・65 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会、郷土資料室整理などの活動、放課後子ども教室との交流 ・現地研修会（青塚古墳・大懸神社、名古屋市博物館、萬松寺・常安寺）や学習会（郷土料理・ミョウガ饅頭作り、DVD鑑賞）の実施 		
評価と課題・改善策	<p>○ 意欲的に活動している文化財研究会を中心に文化財保護意識は高い。会員の高齢化に伴い、後継者の不足・育成が課題である。</p> <p>○ 『とよやま文化財まっぷ』は、郷土愛を育むためにも大切な教材である。文化財保護を担う若い世代の人材育成のためにも、指導できる教員の育成と、小中学校での社会科授業での効果的な活用が望まれる。</p>		

事業4-3	文化財資料の活用促進	評価	B
目 標	郷土資料室での郷土資料の展示方法を継続的に改善・充実するとともに、学校教育でも効果的に活用するなど、魅力ある地域社会の創造に向けて郷土資料を有効に活用する。		
実施状況と 成果	<p>① 郷土資料室の整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の展示（豊山の歴史・民俗） 民家の再現・出土品・古地図・農具・民具・竹細工などの展示 ・文化財アドバイザーによる小学生の社会科見学への説明 <p>② 郷土資料室展示方法の改善事業 <『まとめ』P63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに企画展・特別展の開催 特別展示コーナー「平和の礎品」「資料室から旅に出よう」の展示 ・季節や目的を絞った展示会、時節パネル『催時季』の掲示 郷土文化（昔の正月・節分・お雛さま・田植え・お祭りなど）の掲示 		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常設展・企画展とも、来場者の見学後の感想は好評であったが、町民が何度も来場したくなるような展示方法をさらに工夫する必要がある。 ○ 展示品は、実際に使用されていた昔の地元の郷土資料品ばかりである。教職員や児童生徒に見学をさらに呼びかけ、郷土学習の現存する貴重な教材として、学校教育でもさらに積極的に活用してほしい。今後は、学・社（学校と社会教育）のいっそうの連携を深めていきたい。 		

V 芸術・文化の分野

5年後の豊山町のめざす姿	芸術・文化によって、町民の豊かな心が養われ、地域社会に潤いがもたらされます。また、指導者の発掘育成や練習場所、発表機会の充実により、自主的な活動を活発に行っていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業5-1	芸術・文化活動の推進	評価	S
目標	文化振興事業やサロンコンサートを行い、町民に多くの優れた芸術・文化にふれる機会を提供する。また、町文化協会と協力して町民が自主的に行う文化活動を支援し、活動成果を発表する機会を提供する。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興事業の推進 <『まとめ』P18 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八神純子アコースティックコンサート」入場者数 342 人【前年比 5 人増】 文化振興事業サポーター（公募 9 人）による企画・運営段階からの参画 <p>② サロンコンサート事業の開催 <『まとめ』P18 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月「世界の名曲の旅」入場者数 50 人、11 月「アモーレのカタチ」入場者数 52 人、12 月「冬に熱いクラシック」入場者数 50 人、3 月「春と花の調べ」入場者数 35 人（年 4 回開催）【前年比 15 人減】 <p>③ 文化展・芸能発表会の支援事業 <『まとめ』P38 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸能クラブ 16 団体が出演 総出品数 765 点【前年比 28 点減】 		
評価と課題・改善策	○ 今年度は「第 31 回国民文化祭・あいち 2016」を兼ねて開催した。自主的な運営による文化展や芸能発表会、文化フォーラムでの盛会は、芸術・文化による潤いのあるまちづくりの振興に大いに貢献している。		

事業5-2	文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援	評価	A
目標	町民自らが自由にあらゆる場所、あらゆる機会を利用して芸術・文化活動を行うことができるよう、町文化協会の活動を支援するとともに、芸術・文化グループなどの育成と支援を行う。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興団体の活動と支援事業 <『まとめ』P38～43 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化協会への助成支援（機関紙『ふれあい』発行など） ・ 加盟団体（32 クラブ・合計 427 人）の活動 16 芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・やまびこクラブなど） 16 文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・読書クラブ・豊山俳句クラブ・書道クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブなど） ・ 小中学校 P T A サークル活動への支援 <『まとめ』P43 参照> <p>② 文化施設の整備 <『まとめ』P56～62 参照></p>		
評価と課題・改善策	○ 文化協会会員の高齢化に伴い、会員数が減少している。とよやまチャンネルなどのメディアを活用して加入促進を図っていく必要がある。		

第四部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

布谷光俊	元 愛知教育大学教授（元 附属名古屋小学校校長）
丹羽孝之	前 豊山町立志水小学校校長

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	平成29年7月24日（月）	14:00～16:30
第2回外部評価委員会	平成29年8月21日（月）	14:00～15:30

1 布谷光俊委員による評価

◎ 教育委員会の活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 教育委員会会議（定例会12回及び臨時会1回）を適正に開催・ご審議いただいている。
- 各回の審議内容については、役場ホームページに議事録を掲載し、情報公開に努めている。

II 教育委員の活動状況

- 例年通り、県の市町村教委連合会及び愛日地区、西春地区の教育委員会関係会議、研修等に積極的に参加していただき、他市町村との情報交換、連絡調整等にも努めていただいた。
- また、昨年度も、教育委員全員による学校訪問や教育委員が手分けしての各学校行事への出席、町内4校長との合同会議の開催等を実施するなど、豊山町ならではの、教育現場を大切にしたい取り組みに努めていただいた。全委員一丸のご姿勢・ご尽力に敬意を表したい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

- 本分野での昨年度の全7事業の総合評価Aについては、妥当な判断と思われる。

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 平成22年度にスタートした「生涯学習の基本構想・基本計画（10年計画）」でのテーマならびに基本目標に基づいて計画した平成28年度の重点目標・重点施策を着実に推進したと思われる。
- 関連の各審議会ならびに各実施委員会、育成会等もそれぞれのご任務を十分に発揮され、生涯学習のまちづくりの計画的な推進にご尽力いただいている。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 昨年度も多様な生涯学習講座の開催や公募サポーターによる文化振興事業の企画・開催、町民参画による諸活動の拡充に一定の成果が認められる。
- 年度初めの生涯学習講座の受講申込者を対象にした意識調査は今後のニーズ把握に役立ったと思われるが、さらに拡大して、全町民の多様な意識やニーズ、満足度等をいかに集約・把握し、今後の講座開設や行事計画、施設整備等にどう生かしていくかについても、次年度以降の重要な課題としたい。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアの活用による「ふれあいひろば」での多世代型体験活動は、地域で子どもを育てる上でもきわめて有効ゆえ、いっそうの拡充を期待したい。
- 今後は、常連参加者やシニア町民等への積極的な声かけ・啓発等によるボランティアの確保、新規サークル活動の発掘・育成も重要な課題になると考える。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 年2回発行の「生きがいタウン」のより広範な配布や町広報の「まなびすと」コーナーでの定期掲載は今後も欠かせないが、インターネット（PC版及びスマホ版の各ホームページ）やCATVの活用による新鮮で動的、親近感のある学習情報の提供についても是非考えてみたい。
- 相談体制の整備については、検索コーナー（PC）の設置や職員研修の充実（生涯学習の楽しみ方や意義からサークル活動の育成までを含めて）とも併せて考えたい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 平成22年度からのインターネットでの施設予約システムの導入で、各施設・設備の利用に効果を発揮していると思われる。
- 社会教育センターでの航空宇宙関連図書コーナーの設置は、まさに本町の特色を生かしたもので、次代を担う子どもたちのためにも有用な整備である。益々の充実を期待したい。
- 「とよやまスカイプール」の大幅な利用者増には、様々な要因・ご尽力等があるだろうが、指定管理者制度の成果でもありと思われる。

事業1-6 読書活動の推進

- 読書離れや少子化が進む中、社会教育センター図書室の利用状況の増加を大いに評価したい。
- 上記の裏には、子ども読書活動推進委員会の開催、新1年児童生徒への利用者カード申請書の配布、新刊図書の案内配布、親子読書会・おはなし会の開催等々、本町ならではの地道な取り組みがあったからだと思う。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 社会体育・生涯スポーツでは、子ども向けあるいは親子の教室の他、ビーチボールやニュースポーツ、運動能力測定などの現代的な教室を用意して、参加者の増加を図っている。
- 全町民が期待の愛知駅伝では、昨年より順位を一つアップとのこと。監督と選手に心より敬意を表するとともに、今後とも、選手の確保や養成、最善の練習環境の確保等に関して、町からも諸支援をお願いしたい。
- 豊山町ならではのエアポートビューマラソン、今後とも息の長い継続・発展を期待したい。

II 家庭教育の分野

- 本分野での昨年度の全3事業の総合評価Aについては、妥当な判断と思われる。

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 乳幼児学級や家族ふれあい事業での参加者数の減少は、いよいよ本町でも少子化の影響が避けられなくなったことによるものと思われる。
- 子育てサークルへの支援や子育てネットワークの構築については、上記事業参加者のへの声かけや町の関連部署・関連施設・関連団体等とのいっそうの連携により、さらに推進したい。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 放課後子ども教室ならびにふれあいひろば事業の充実等に向けての努力を大いに評価したい。
- 「地域の子どもは地域で育てよう」を目指した多世代参加型体験活動は、豊山っ子の成長に必ずやよき効果がもたらされられると思われる。地域総ぐるみでのさらなる発展を期待したい。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 本年度も、青少年の非行・被害防止のための合同街頭指導等にご尽力された関係者各位に感謝したい。
- スポーツ少年団や子ども会活動への諸支援は、子ども同士の交流・協働による成長の視点からもきわめて重要ゆえ、今後も大切にしたい。

III 学校教育の分野

- 本分野での全17事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 児童生徒や保護者へのアンケート調査を含めた学校評価ならびに学校関係者評価委員会の複数回開催等、学校評価が適切に行われている。今後は、これらの結果をどのように分析・評価し、学校経営の改善にどう生かしているかについても記述していただくと有り難い。
- 学校行事への保護者や地域住民の参観・参画、学校ボランティアの募集によるゲストティーチャーの人材確保等々の努力を高く評価したい。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 本町でも、予算に限りがある中で、各校の老朽化による補修・取り替え・改修等の工事に努めているが、今後も、児童生徒の安全・快適な学習環境の確保を第一に、将来構想も含めた着実な年次整備計画の策定・推進が求められる。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 特色ある教育活動を実施するには、担当教員の周到な教材研究や授業構想はもちろんのこと、地域住民の献身的な協力や外部講師の懇切な支援が必要となる。すべての関係者に感謝したい。
- 長野県阿智村でのスキー研修（豊山中1年）は、非日常的な体験による冬季スポーツへの関心育成と運動能力の調和的な発達、団体行動による人格形成等々を図る上できわめて有効と考えられるゆえ、今後も是非継続していただきたい。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 各校での創意工夫ある各種の保健学習や保健活動、自転車交通安全教室（各小学校）、保護司講話・防災講習（中学校）等々は現代児童生徒にきわめて有効で、今後とも大切にしたい。
- 特別支援教育等への町支援員5名の加配、感謝したい。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 昨年度も給食センターの献立委員会や食育の出前講座、食の安全講習会等を適宜開催するなど、食の安心・安全の確保と食の大切さや栄養バランスの指導等に関わる体制がよく整っている。
- 中でも、食物アレルギー児童への諸対応（該当保護者との面談やエピペン講習会の開催等）には敬意を表したい。

事業3-6 教員の資質向上

- 各校が授業研究を中心にした特色ある研究テーマを設定し、日々校内での現職研修に励んでおられる。
- 外部講師を招聘して行う夏季研究協議会では、町内の全教員が研修し、道徳の模範授業を参観して種々学び合うなど、教員の授業観や授業力の向上に努めている。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 経験や職務内容に即した研修、不祥事根絶に向けた校内外の研修等は、現代の教員研修の喫緊の課題であるゆえ、関係者のご努力に敬意を表したい。
- 14名の町採用非常勤講師を対象にした定期的な研修会の開催も、正規採用を目指して力量向上

に日々励む講師の方々にとってきわめて有効で大切な企画ゆえ、有り難い。

事業3-8 校務支援の推進

- 今、全国的な問題でもある教職員の会議の削減、校務の軽減は、肥大化した校務の精選・効率化を図り、教師の授業準備の時間や子どもと向き合う時間を確保する上でも必須の課題であるゆえ、是非実現に向けて努力していただきたい。
- 「C4th 会議室」の活用も含めて、事務処理のいっそうの効率化・適正化を期待したい。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 保護者・地域からの要望については、学校全体で受け止め・対処することが求められるゆえ、今後も校内での教員連携・支援体制のいっそうの構築・推進に努めたい。
- 教育活動のいっそうの充実や児童生徒の安心・安全の確保を図るため、地域の学校支援ボランティアやゲストティーチャーの協力を多々得ている。関係者のご尽力に感謝したい。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 各学校・各学年段階に応じて、各職種の出前授業を活用したり、職場体験学習を実施したりし、キャリア教育の充実に取り組んでいる。とりわけ市場や航空関連の講座は、本町ならではの特筆すべき学習で、今後も大切にしたい。
- 本町では、いずれの学校でも、児童生徒の実体験による学びを重要視してキャリア教育の充実に努めている。関係教員の諸準備・諸尽力や連携先の理解・協力に感謝したい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 本町では、小学校1年からALTと担任のTTによる英語コミュニケーション能力の育成、ALTを講師にしての英語教育の研修、修学旅行先での外国人へのインタビュー等々、特筆すべき取り組みが多々ある。
- 本事業は、新学習指導要領の実施（平成32年度から小学校高学年での外国語の教科化）とも関連してきわめて重要な意味をもつゆえ、今後も、移行期間からの着実な実施を見据えた、きめ細かな教員研修や授業計画・授業内容の改善等々、いっそうの充実を図りたい。

事業3-12 情報教育の推進

- 本町では、児童生徒のICT機器の活用能力育成はもちろんのこと、現代のIT社会に必須の情報モラルの育成等にも丁寧に取り組んでいる。
- 保護者も参加の「ケータイ・スマホ安全教室」の開催や保護者向け啓発資料「ネットトラブルから子どもを守るために」の活用等は、児童生徒の安心・安全の生活や健全な成長を確保する上でも、現代ならではの必須の課題ゆえ、きわめて有効である。

事業3-13 就学援助の充実

- 昨年度も就学援助法に基づく援助が適正に行われたと認められる。
- 我が国の子育て世代の貧困率悪化が問題視されている今、準要保護者への就学援助費・奨励費の支給は、効果的な援助である。

事業3-14 道徳教育の推進

- 学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動や見守り、本の読み聞かせボランティアによる読書習慣の形成、地域支援ボランティアによる異世代間諸交流活動等々は、児童生徒の豊かな心の育成にきわめて有効である。
- 来年（平成30年度）から始まる道徳の教科化や新学習指導要領（平成32年度）での「主体的・対話的で深い学びの実現」も考慮すれば、これらを見据えた道徳教育のいっそうの充実が重要な課題となると思われる。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 本町では、体力向上に向けた各校の工夫とともに、各校の部活動の対外的な活躍に顕著なものがあり、児童生徒の健全な成長発達に寄与していると思われる。
- 豊山中での部活動支援のための外部指導員の導入は、教員の負担軽減と授業研究時間の確保等につながるゆえ、大いに評価したい。ただし、外部指導員には、何らかの研修も必要と思われる。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 昨年度も、各校での「いじめ防止基本方針」の徹底と年3回のアンケート調査、町のいじめ問題等対策委員会に参加しての情報交換等々、これらの対応にご尽力いただいている。
- 全国的にも問題になっている、小学校での該当件数の増加は、本町でも例外ではないと思われる。本町でも、いっそうきめ細かな対応が求められる。

事業3-17 生徒指導の充実

- 日頃から基本的な生活習慣の徹底と定着、心が通う学級・学校づくり、児童生徒・保護者との信頼関係の構築、問題行動の未然防止と早期発見、関係機関との緊密な連携等々に努力しておられる先生方に敬意を表したい。
- 昨年度も、検挙ならびに補導対象の非行は1件も無かったとのこと。上記の努力の結果であり、感謝したい。

IV 文化財の分野

- 本分野での昨年度の全3事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

事業4-1 文化財の調査・保護

- 昨年度も、定例の文化財保護審議会での関連各事業の点検・評価、県・町指定文化財の保護・保存が適切に行われたものと認められる。
- 郷土資料の紹介や展示、案内板の設置、特別展の開催等も適切に行われている。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会による「とよやま文化財マップ」の作成・配布や郷土資料室の整理、歴史講座(年5回)の開催、放課後子ども教室との交流会、現地研修会の開催等々は、本町ならではの特色であり、文化財保護意識醸成の視点から、大いに評価したい。
- 文化財保護の担い手の育成については、既に様々な努力をしておられると思うが、今後ともあらゆる機会(上記の講座や研修会の開催時、諸広報や豊山チャンネルでの文化財紹介時、学校の諸教育活動への協力時等々)をとらえて、町の各世代への啓発や人材発掘に努めたい。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 児童生徒が郷土の文化財資料に触れ、学ぶことは、単なる知識の習得のみにとどまらず、郷土の歴史や先人の営み、自分の立ち位置等への探究心を育み、自己肯定感や連帯意識、郷土愛等の形成につながるゆえ、これらの積極的な活用を促したい。
- また、町内各学校での国語科や社会科・生活科・総合的な学習時間等での文化財資料の教材としての活用範囲・活用方法は実に広く深い。学・社(学校と社会教育施設)のいっそうの連携・融合を深めたい。

V 芸術・文化の分野

- 本分野での全2事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 町公募の事業サポーターによる企画段階から参画・運営の文化振興事業コンサートの開催をはじめとして、芸能クラブ16団体による文化展や芸能発表会等々、町民の自主的な文化活動によ

る心豊かで潤いのある地域社会づくりが進んでいる。年4回にわたるサロンコンサートの積み重ねも評価したい。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 町の文化協会への活動支援や芸術・文化グループへの育成支援、各校 PTA サークルへの活動支援等、本町ならではのきめ細かな支援が行き届いている。
- 文化協会の会員数減少については、時代的な背景もあると思われるが、種々の対策を図る必要がある。

◎ 全般に関すること

- 今回も各事業の実施状況やその成果から、教育長始め事務局担当課の皆様やボランティア、サポーターの皆様の日頃のご尽力・ご苦心の跡がうかがえる。関係各位の皆様に心より感謝と敬意を表したい。

2 丹羽孝之委員による評価

◎ 教育委員会の活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 適正な組織・計画のもと、実効性のある審議等が行われている。

II 教育委員会の活動状況

- 教育委員による小中学校現場の諸行事等、教育活動の視察・指導、各校長との合同会議での意見交換など、子どもたちを大切にそして教育現場を大切にされた活動は大変評価したい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 町第4次総合計画の後期基本計画3年目として、多くの町民が関わり、地域に根差した組織のもと、計画が順調に進められ、温かなまちづくりが展開されている。様々な社会情勢の変化を捉えながら、時には微調整も加えつつ、誰もがいきいきと過ごすことができるまちづくりが進められることを期待したい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 公募による住民（文化振興事業サポーター）を活用するなど、町民の目線に立った興味深い講座により、活発に活動が展開されている。町民のニーズのリサーチとともに、講座内容も随時検討され、新しい受講者の開拓のための工夫を図られたい。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアバンクの活用では、小中学校のクラブ活動（課内）への講師派遣が考えられるかもしれない。
- 指導者・取りまとめ役等の継続的な確保というのは難しい問題だと思う。活動を繰り返す中で、教える経験をしたり運営活動に少しずつ関わったりすることを経験する中で、新たな指導者が育ち、活動の裾野が広がっていくことを期待したい。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 体制の改善、整備が着実に進められていること、そして今後の改善事項も示されていることには評価したい。「生きがいタウン」の町HPへの掲載が始められ、活動に参加された町民による「とよやまみんなのチャンネル」での呼びかけなども検討されているようで、確実に先へ進めていただいている。今後の展開を期待したい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 町民にとっての利便性を考慮されながら学習環境整備が図られていると思う。図書館の航空宇宙図書コーナーは、館内に関連するデコレーションもされながら、夢が広がるような絵本や入門的な書物を並べるといった特色ある展示を考えられてはどうか。

事業1-6 読書活動の推進

- 推進計画に基づき、関係機関・関係団体が精力的に活動を推進され、着実に成果が上がっている。小さな子どもたちは「お話」を聴いたり観たりするのが大好きです。保育園や小学校に出かけられての活動を一層広げられてはどうでしょうか。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 小さな頃から楽しくスポーツに親しむ空気が町にあり、素晴らしい。長年にわたる関係各位のご支援・ご協力の賜物であると思う。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 昨今の様々な社会情勢を鑑み、少子化や核家族化等に伴う子育て支援・子育てネットワークの重要性は増すばかりである。関係部局とも緊密な連携を図られ、一層質の高い事業を進めていただけたらと思う。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 合い言葉「子どもは地域で育てよう」のとおり、多くの方々が様々な場面で町の子どもたちと関わり、交流されるための環境づくりに努められているのは、本当に素晴らしいことだと思う。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 本事業も「子どもは地域で育てよう」を具現化するような、町民ぐるみの取り組みが様々な展開されていて、頭が下がります。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 各学校が開かれた学校経営に努め、保護者・地域に様々な情報発信をしながら、適切な学校評価・学校改善に取り組んでいる。地域住民を外部ボランティアとして招き、授業改善にも取り組んでいる。豊山チャンネルと併せてまちづくりサポーターの活動との連携も興味深く思う。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- より安全で快適な教育環境の確保に向け、様々な整備事業が進められている。一層の事業拡張を期待したい。さらに、学校施設の建て替えも含めた大規模な改修計画の策定の必要性も示されており、魅力ある事業展開を期待したい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各学校が、基礎学力の向上や豊かな心の育成に向け、当局の支援のもと、児童生徒の実態

に即した特色ある教育活動を展開しており、大きな成果が上がっている。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 町独自で心理カウンセラーや教育支援員を配置するなど、教育相談活動や特別支援教育にも力を入れた教育活動が展開されているのは評価できる。インクルーシブ教育の理念に基づき、今後も一層の行政支援をお願いしたい。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 栄養教諭による栄養学習が継続して各校で実施され、各学校それぞれの取り組みも含めて、食育指導が適切に展開されていてよい。また、食物アレルギーに対する対応も、該当保護者や学校と連携して適切に行われている。

事業3-6 教員の資質向上

- 若手教員の急増の問題も含め、教員の資質・能力の向上は大変重要な課題で、当局の支援のもと、それに向けた様々な研究・研修が、時には外部講師を招聘して各学校で行われている。また、4校すべての教員が一堂に会して行われている研究協議会の実施も含めて、差し迫っている道徳や外国語の教育課程の大きな変化には適切な対応を進めていかれるよう、各学校へのご指導をお願いしたい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 町独自で採用していただいている講師は、指導主事を中心に研修会も実施され、高い意識・意欲をもって各学校で勤めている。その後、その経験が生き、正規教員となってそのまま該当校に赴任して活躍するといったケースも多く、教員の質の向上にも繋がっている。是非、今後も事業の継続をお願いしたい。

事業3-8 校務支援の推進

- 教員の多忙化解消に向けた事務処理負担軽減については、当局の指導のもと、IT化による合理化、共同実施化による効率化が進み、学校全体としての負担軽減に繋がってきていると認識している。今後は、部活動等も含めたさらなる勤務の適正化に向けた取り組みを考えられたい。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 地域社会や関係機関との連携は、それぞれがもつ教育素材の開発・活用という視点で、大きな意味がある。これまでの「子どもは地域で育てよう」という町の気風を繋げつつ発展させ、「地域学校協働活動」を推進されたい。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 近年、若者の勤労観・職業観の低下が話題になっており、取り組まれている内容は意義深いものばかりである。地域に根差した内容も多く取り入れながら、イベント的に終わらせない、一層の内容の充実を図りながら進められることを期待したい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 当局によるALTの配置を中心に、各学校でも工夫改善を図りながら精力的に活動が実践され、大きな成果が上がっている。小学校英語の教科化に向けて、指導内容や指導体制の構築等、確実な準備が進められるよう、より一層の研究・実践を期待したい。

事業3-12 情報教育の推進

- ICT機器・教具の配置とその活用環境の整備のおかげで授業改善が図られ、授業実践になくてはならないものになっている。今後も一層効果的なものとなるよう、学校との連携を図るとともに、当局のご指導・ご支援をお願いしたい。

事業3-13 就学援助の充実

- 当局に就学支援担当者が配置されて以来、手厚く就学支援が行われているのは評価できる。また、就学困難者等への援助も適切に行われており、よい。各制度の保護者等への周知徹底については、継続して繰り返し行っていただきたい。

事業3-14 道徳教育の推進

- 地域の多くの人材を活用しながら、豊かな心を育む教育活動がどの学校でも積極的に実践され、確実に成果が上がっている。今後も、一人ひとりの子どもの心に寄り添いながら、活動を進めていってほしい。来年度に迫った道徳の教科化の問題については、適切に教育活動が実施されますよう、当局のご指導をお願いしたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 体力の低下が危惧される昨今の状況であるが、各学校ともに学校体制として体育的活動、体育的行事を取り入れながら、教育活動が実践されていて、よい。指導方法等に関しては工夫改善を一層図られたい。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 各学校においては日頃の教育相談活動やいじめ不登校対策委員会の開催など、当局においてはスクールカウンセラーの配置や適応指導教室の運営、町いじめ問題等対策委員会の開催などを通して、大きな成果を上げている。最重要課題であり、関係者、関係機関がいじめ・不登校に対して共通認識をもって、今後も引き続き、力を注いでいっていただきたい。

事業3-17 生徒指導の充実

- 「心の居場所」となるような学級・学校づくりが行われ、心の通った日頃の教育相談活動なども功を奏して、大きな成果を上げているのは大いに評価できる。今後とも、一人ひとりの子どもを大切に、心の通う教育活動を展開してほしい。

IV 文化財の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 文化財保護審議会を中心に、適切な調査・保護保存活動が行われており、評価できる。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会においては研修会や学習会を開催するなど、精力的に多くの興味深い活動が行われており、大いに評価できる。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 郷土資料室では資料収集・整理・展示などが適切に行われており、来場者から好評を得ているのは評価できる。今後、小学校等での出前授業や授業協力などを考えてみるのも有効ではないか。

V 芸術・文化の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 文化振興事業サポーターによる興味深い文化振興事業の実施や毎年盛大に行われている文化展・芸能発表会等、大きな成果が上がっており、評価できる。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 豊山町ならではの、伝統ある質の高い文化活動であると思う。PR活動等を積極的に行いながら、多くの町民の参加のもと、益々発展されますよう、活動の活性化に努めてください。